

美濃中生、働く姿イメージ

市内の企業招き学習会



企業担当者の講演を熱心に聞く生徒たち
＝美濃市千畝町、美濃中学校

美濃市千畝町の美濃中学校で、市内の企業から働き方などを聞く「企業学習会」が開かれ、全校生徒約330人が将来の働くイメージを膨らませた。

職業観や勤労意欲を培い、学校生活や進路選択に生かしてもらおうと、同校が美濃商工会議所と連携して開催し、今年で2回目。同会議所の会員事業所11社が参加し、それぞれ教室をブースにして講演した。

ドローン事業を展開するROBOZ（名古屋市）の担当者はドローンの実物を紹介しながら、仕事内容や1日の流れについて説明。仕事をやる上で大切なこととして、「イレギュラーなことが起きた時の対応力が重要」と伝えた。生徒たちは、将来自分が働くことを想像しながら、真剣な表情で聞き入っていた。

2年の須田康太さん（13）は「さまざまな会社の話を聞いたが、どの会社でもコミュニケーションが大切だと分かった。今後、積極的に話すことを意識して学校生活を送りたい」と話した。

（山岸達矢）